



絆 きずな

大槌町へ届け！

5月25日に開催されたチャレンジデー2011。「スポーツの力で日本を元気に！」を合い言葉に、にかほ市では昨年の対戦相手、被災地の岩手県大槌町を元気づけようと人文字を企画。スポーツを楽しむ心と、相手を思いやる気持ちが育まれました。

＝関連記事は2、3ページ＝

主な内容

- チャレンジデー 2011.....P 2～3
- 地球温暖化防止実行計画.....P 4～5
- まちの話題.....P 6～7
- くらしの掲示板.....P10～

vol.138

2011

6.15

<http://www.city.nikaho.akita.jp>

がんばろう東北

白瀬南極探検隊 100 周年記念特集

その拾参



日記に記述があります。

開南丸は南緯74度16分、東経172度07分の地点で船首をシドニーに向けてます。南極に上陸という強い土気のもと、苦痛を伴う作業にも耐えていた隊員たちは意気消沈してしまします。船内ではこれを境に病人が続出するなど、さまざまなトラブルが起こり、被服係の吉野義忠などは胃潰瘍と黄疸を併発してしまします。また事実不明ですが、野村船長と丹野一等運転士がミスをおかし、2人を排斥する動きや、白瀬の毒殺計画であったといひます。これに対し、規律をゆるやかにしたり、船内雑誌「南潮」を発刊したりするなどの融和策が講じられます。夜勤者以外は午後5時の夕食から翌朝8時の朝食までは食事をとらない決まりでしたが、白瀬が夜食を提案して小豆粥を食べたり、4月16日には「初めて風呂を沸かし久方振のこけを落した」などと武田の日記に記述があります。

白瀬隊が捕獲したナンキョクオオトウゾクカモメの剥製（神谷氏寄託資料）



意気消沈した船内
 南極圏からシドニーへ



未知に挑む
 南十字星のもとに

船上に集まる「信天翁（※実際はナンキョクオオトウゾクカモメ）」も何度か銃で捕獲。数羽を剥製にし、その時のものとみられる資料が、白瀬記念館に保管されています。南極探検後援会（会長・大隈重信）の会計担当だった神谷幸吉が白瀬隊から剥製を贈呈され、彼の遺族から寄託されたものです。

南極圏からおおよそ1カ月半で開南丸はシドニーに入港。ニュージランドのウエリントンよりも遠いシドニーへ寄港したのは、日本領事館があったためです。滞在中、領事館の土地の一部に小屋を建て数カ月生活する計画で、協力が必要だったのでしょうか。

しかし、予期せぬ来訪者だった白瀬隊は、日本の領事館、外務省に残る記録からみると、歓待されたとは言いがたかったようです。

白瀬日本南極探検隊
 100周年記念事業推進事務局
 ☎ 38-4670
 白瀬南極探検隊記念館
 ☎ 38-3765



航海中、五右衛門風呂に入る武田輝太郎



伊藤カネヨさん（舟岡）宅のシバザクラ

青葉から花の季節。色鮮やかな花々が咲くころ。植物たちは人間の社会に何があったのか、知ってか知らずかいつものとおり。何があっても変わらずに咲く。そんな強さをわたしたちも...

変わらずに咲く

風物詩

心のふるさとを訪ねて

企画・編集／にかほ市広報委員会 発行／にかほ市役所
 〒018-0192 秋田県にかほ市象潟町字浜ノ田1番地
 ☎ 0184-43-3200（代表）☎ 0184-43-7510（直通）
 ホームページアドレス <http://www.city.nikaho.akita.jp> 電子メールアドレス info@city.nikaho.lg.jp



2011 熱戦再来 北東北総体

北の空 無限の可能性

にかほ市は平成23年度インターハイサッカー競技の開催地です。

広報にかほ は、にかほ市ホームページでもご覧いただけます